

函南町

地形概況

狩野川・深沢川・来光川にそう三角州性低地が西部をしめる。箱根火山・多賀火山の西斜面が長く原面を残している。低地との間の平井段丘面が広く分布する。田代・軽井沢・丹那などの盆地群は丹那断層の延長上にのり変位が認められる。

地質概況

箱根火山や湯河原火山の安山岩質溶岩、多賀火山の玄武岩質溶岩などが山地を形成する。中腹以下には火山灰層や軽石層なども堆積する。沖積地は低温な泥層・シルト層で軟弱な地層もみられ、平井・畑毛には段丘が発達し砂礫台地となる。

気象概況

年平均気温は推定 15.4℃、年平均降水量が推定 1,900mm である。8月に月平均気温が最高となり、1月に最低となるが、その温度較差は小さい。1年を通して月降水量は5月から多くなり、9月までに全降水量の 57%が降るが最大月と最小月との比は小さい。

災害事例 地震

- 1930年11月26日(昭和5年)北伊豆地震 M=7.3
田代盆地西縁から、軽井沢を経、丹那盆地を通り、南に延びる丹那断層を生じた。丹那盆地付近で最も変位が大きく、水平変位最大 2.5~3.5m(西側が南に動いた)。丹那盆地の地下約 160m を掘削中の丹那トンネルを約 2.7m 食い違わせた。当地での被害は大きく死者 37 人、負傷者 195 人、住家全潰 394 戸、半潰 427 戸、付属建物倒壊 997 棟、建物破損 1,102 棟、全焼 10 戸、荒廃林地 95 町歩に達した。
- 1923年9月1日(大正12年)関東地震 M=7.9
東京・横浜を潰滅させた大地震。当地では死者 1 人のほか家屋全潰 52 戸(4.2%)の被害があった。
- 1854年12月23日(安政元年)安政東海地震 M=8.4
県下一帯大きな被害を受けたが、当地では比較的軽微で平井・柏谷・谷田などで震度 4 になった程度。

災害事例 台風

- 1982年8月2日(昭和57年)台風10号
全県下に被害あり、天城湯ヶ島で降り始めからの降雨 450mm のを記録した。函南町でも床上浸水 146 戸、床下浸水 374 戸の被害があった。
- 1958年9月26日(昭和33年)狩野川(22号)台風
伊豆半島一帯で被害甚大で、死者行方不明 1,000 人以上に達した。函南の被害は、死者 2 人、負傷者 3 人、全壊 8 戸、半壊 93 戸、床上浸水 453 戸、床下浸水 78 戸、流埋田畑 137ha である。
- 1910年8月10日(明治43年)
全県下特に中・西部で被害大。山間部で降雨量多く、函南村で浸水家屋 897 戸を出

した。

- 1859年7月23日（安政6年）未の満水
昼頃より大風雨、翌朝大洪水。
- 1858年8月2日（安政5年）
2日にわたって大雨が降り大場川が氾濫した。
- 1671年9月29日（寛文11年）亥の満水
この大洪水は広く各地に及んで被害は甚大であった。当町一帯も田畑冠水、丘陵は見る見る海のようになり、家屋・橋梁などが多数波のまにまに漂流した。また人畜死傷も多数であった。

災害事例 冷害

- 1825（文政8年）
夏期、冷気が続いて凶作、取り入れ時の11月、イナゴに荒され、百姓は代官所へ納米することができなかった。